

丸山正彦 （きんぎょ） 國學者。安政六年六月十七日肥前國生乳、大正二年十一月六日歿（八五九一（九）四）。著者江上繁三郎、號万比古、丸山松廬、松廬、松廬主人、源朝正正彦、青木永錫、鸞洲等。丸山作樂の養嗣子。東京大學文學部圖書科卒。

著書 『日本古來財産相續法』（明治二十一年九月十四日松廬藏版、岩永米

太郎刊）、『外交』（合著、明治二十一年十月二十日博文館）、『臺灣開創

鄭成功』（松廬主人名、明治二十八年十一月十日嵩山房）、『軍勅諭

義解』（明治二十一年八月七日吉川半七刊）、『丸山作樂傳』（明治

二十二年十一月二十一日自刊）、『中學新式勉學要訣』（合著、涵養社

一、山川政要編、明治二十五年二月四日大學館「學生坐右叢書」）、『軍

勅諭義解』（明治四十二年五月七日厚生堂）、文集『春光』（合著、

好文會編、明治四十四年五月二十日明治書院）、『大正勅諭衍義』（大

正元年十一月十九日厚生堂）、『軍國曆百史談』（植木直一、郎共著、

再版、大正二年十月二十七日厚生堂）、文集『彩雲』（合著、好文會

同人、大正五年一月二十日精華堂書店）等。『丸山正彦傳』（大正四

年五月二十日丸山善彦刊）がある。

